カレッジ通信

編集・発行
東京建築カレッジ

授業見学大歓迎！
TEL 03-5950-1771

山本厚生先生の最終講義「木の家づくりの展望」

建築カレッジの存在意義、役割を再確認

職業能力開発短期大学校　東京建築カレッジ（東京都豊島区、小林謙二学校長）は7月1日、「けんせつプラザ東京（東京土建本部会館）」5階会議室で、「山本厚生先生 最終講義＆カレッジ卒業生の集い」を開きました。講師・指導員、理事・事務局を含めて約40人が参加しました。

山本厚生先生は本校の開校当初から講師を務め、「住宅概論」、「住宅計画演習B」、「基礎製図Ⅲ（スケッチ）」、「民家研修（「川崎市立日本民家園」見学など）を担当されてきました。また、厚生先生は、「新建築家技術者集団」の事務局長や代表幹事として建築運動の第一線で活動されてきました。

厚生先生は「木の家づくりの展望」と題して特別講義を行いました。70年代以降の住宅の工業商品化、ハウスメーカーの攻勢に触れながら、本来の望ましい家づくりの在り方が歪められている社会の問題を指摘しました。しかし、危機の深まりの一方で、住民が主人公のまちづくり運動の前進、地域協同の広がり、自然と共存する暮らし方の追求が、ゆっくりと自覚的に広がっていることに確信を持とう、と強調。現在のお住まい（神奈川県秦野市の里山盆地）の「ご近所との交流からも実感する」と、語りました。

山本学治『森のめぐみ～木と日本人』（筑摩書房）の紹介を軸に、木造建築の真の値打ちを継承しようと訴えました。

◇　◇　◇

会場発言では、講義への感想を述べつつ、カレッジの立ち位置、存在意義を再確認する発言が相次ぎました。

「町場の活性化に向かって運動しなきゃいけない、行動しなきゃいけないということが、自分の胸の中に入ってきました」（片岡茂樹　教務運営委員）

『箱の家』しか知らない人間ばかりの世の中ですが、しっかりとした立ち位置で教えていきたいなと思います。ありがとうございます」（樋口佳樹　講師）

第24期生募集中！

来年4月入学生を募集中です。

- 学校説明会は8月29日（水）
  午後2時から・午後7時から

- 第１回入学選考会
  応募締切　9月6日（木）
  試験日　9月12日（水）午前9時半から

どちらも会場は池袋校舎です。
詳しくはお問い合わせください。

授業は毎週金曜・土曜日です。お盆休みはありません。授業見学を歓迎します。お気軽にご連絡ください。

最前列中央が山本厚生先生ご夫妻。右隣が小林学校長、左隣が渡辺義久理事長（東京土建中央執行副委員長）、橋本英夫講師（教務運営委員）。卒業生ネットワークづくりの重要性も確認しあいました。

第20回公開講座　10月21日（日）
ポスター掲示＆チラシ配布にご協力を

第20回公開講座「古民家を活かす、ひらく、つなげる。～コミュニティデザインの視点から」のポスターとチラシが完成しました。すでに、建築系の大学などへの宣伝を開始していますが、より良い建築とまちづくりに関心のある多くの市民の皆さんに参加していただくため、宣伝にご協力ください。

ポスター掲示やチラシ配布でご協力いただける方は、希望枚数と宛名、宛先、電話番号を明記の上、左記までご連絡ください。

〒170-0014　豊島区池袋１丁目８番６号
東京建築カレッジ　電　話０３・５９５０・１７７１
［公開講座係］　ＦＡＸ０３・５９５０・１７７４

10期生　千葉幸大さん、金賞受賞

7月22日開催の「全建総連東京都連第32回青年技能競技大会」の審査結果は次の通りです。（競技課題は「四方転び踏み台」）

金賞　千葉幸大さん（＝写真、東京建築カレッジ 10期生）、銀賞　高田慎太朗さん（同 21期生）、銅賞　柴田輝実さん（同 13期生）、4位　赤井立矢さん（同 13期生）、5位　横山剛士さん、6位　酒井誠さん。上位3名が9月15～17日に茨城県で開催される全国青年技能競技大会に東京代表として出場します。

青年技能競技大会
東京予選大会

1年生の授業から
小屋をつくる

第23期生（1年生）の実習授業は、「カレッジフレーム」を終えて、設計製図授業の一環で「木造軸組み実習」に入りました。班ごとに先生の指導を受けながら、軸組みの小屋を建てる実習です。7月21日の授業では、それぞれの材への墨付けと番付けを行ないました＝上写真。

未経験者の入学が大半で、さらに現場での作業が様変わりした今、軸組み実習は貴重な学習です。秋から始まる2階建て木造住宅の実習棟実習の準備にもなります。

2年生の授業から
卒制が本格化

第22期生（2年生）は、7月21日（土）からほぼすべての授業が池袋校舎で実施。各人が自由テーマで挑戦する卒業制作が本格化します。7月14日（土）の授業では、「秘密箱」「中規模木造施設」「コタツ」「囲炉裏（いろり）」「茅葺き小屋」「鐘楼（しょうろう）」「12角塔」「神輿」の各班が現状を報告、先生方から指導を受けました。上写真は「鐘楼」班の発表の様子です。テーマだけでは何をやるのか不明なものもありますが、ぜひ応援に来て声をかけてあげてください。